



JICA 健康と命のための手洗い運動

活動事例集



2022年 4月

JICA 地球環境部 水資源グループ
健康と命のための手洗い運動事務局



目次

No.	国	活動
1	インドネシア	新型コロナウイルス対策に関する広報活動（民間企業と連携した衛生用品の配付と感染予防啓発ビデオ作成）
2	ラオス	水道事業運営管理能力向上プロジェクト(MaWaSU 2)での水道教室
3	ミャンマー	初等教育カリキュラム改訂プロジェクトにおける手洗いの教科書への掲載
4	インド	アッチー・アードト（良い習慣）キャンペーン（民間企業や自治体との連携による活動）
5	エジプト	ユースセンターにおけるValue in Life Activitiesを通じた新型コロナウイルス予防啓発活動と青年リーダーの育成
6	エチオピア	海外協力隊員（幼児教育）による幼稚園への啓発活動
7	ザンビア	手洗いソングを通じたルサカ市内の脆弱地域の子どもたちへの感染拡大防止活動
8	タンザニア	ナショナルスタッフ主動による手洗い啓発活動
9	マダガスカル	みんなの学校：住民参加による教育開発プロジェクトにおける手洗い啓発活動
10	南スーダン	「正しい手洗い漫画」の全国紙への掲載
11	タジキスタン	ピアンジ県・ハマドニ県上下水道公社給水事業運営能力強化プロジェクトにおける現地自治体及び教育組織と連携した手洗い啓発活動
12	ボリビア	コチャバンバ県統合水資源管理能力強化プロジェクトにおける「正しい手洗い漫画」を活用した手洗い啓発活動
	別添資料	各拠点から報告のあった「健康と命の手洗い運動」活動事例



作成日 2021年10月4日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No. 1		
活動名	新型コロナウイルス対策に関する広報活動（民間企業と連携した衛生用品の配付と予防啓発ビデオ作成）	
活動の種類	■広報・啓発 ■資機材供与 □その他（ ）	
キーワード	コロナ対策、ハンドサニタイザー、マスク、カトラリー、動画、民間企業連携	
関連プロジェクト	インドネシアにおける 新型コロナウイルス 感染症対策支援（保健省・警察・同窓会）	
スキーム	□技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 ■その他（事務所、青年研修同窓会）※課題別研修、国別研修、フォローアップ協力等	
地域	■東南アジア・大洋州 □東・中央アジア □南アジア □中南米 □アフリカ □中東・欧州 □日本国内	
国	インドネシア	
都市	ジャカルタ、全土	
部署/事務所/センター	インドネシア事務所	
手洗い活動実施期間	2020年10月～11月	
活動概要		
<p>・ JICAインドネシア事務所が、インドネシア政府保健省及びJICA青年研修同窓会（KAPPIJA21）と連携し、保健所やKAPPIJA21支部への衛生用品の配布と、予防策を伝える啓発ビデオを作成した。</p> <p>・ 泡ハンドソープ（花王インドネシア提供）、アイマスク、JICAロゴ付の布マスク、ハンドサニタイザー、カトラリー（フォーク、スプーン、ストロー）、インドネシア保健省が作成した手洗い奨励を含む感染予防リーフレットを合計3,000セット提供した。</p> <p>・ 啓発ビデオは、KAPPIJA21と連携して作成し、Facebookで20万回超の再生、YouTubeで2,500回超再生された。（2020年12月15日時点）</p>		
啓発人数	直接：3,000人、動画再生：20万回以上	
配布物 / 供与資機材 数	衛生用品（布マスク、ハンドサニタイザー、カトラリー、リーフレット）3,000セット、泡ハンドソープ、アイマスク	
写真		
配布されたJICA保健衛生キット	KAPPIJA21と協働で作成した啓発ビデオ	ビデオ上映会にてスピーチを行うインドネシア政府新型コロナウイルス対策タスクフォース責任者のDoni 国家防災対策庁長官

教訓／課題

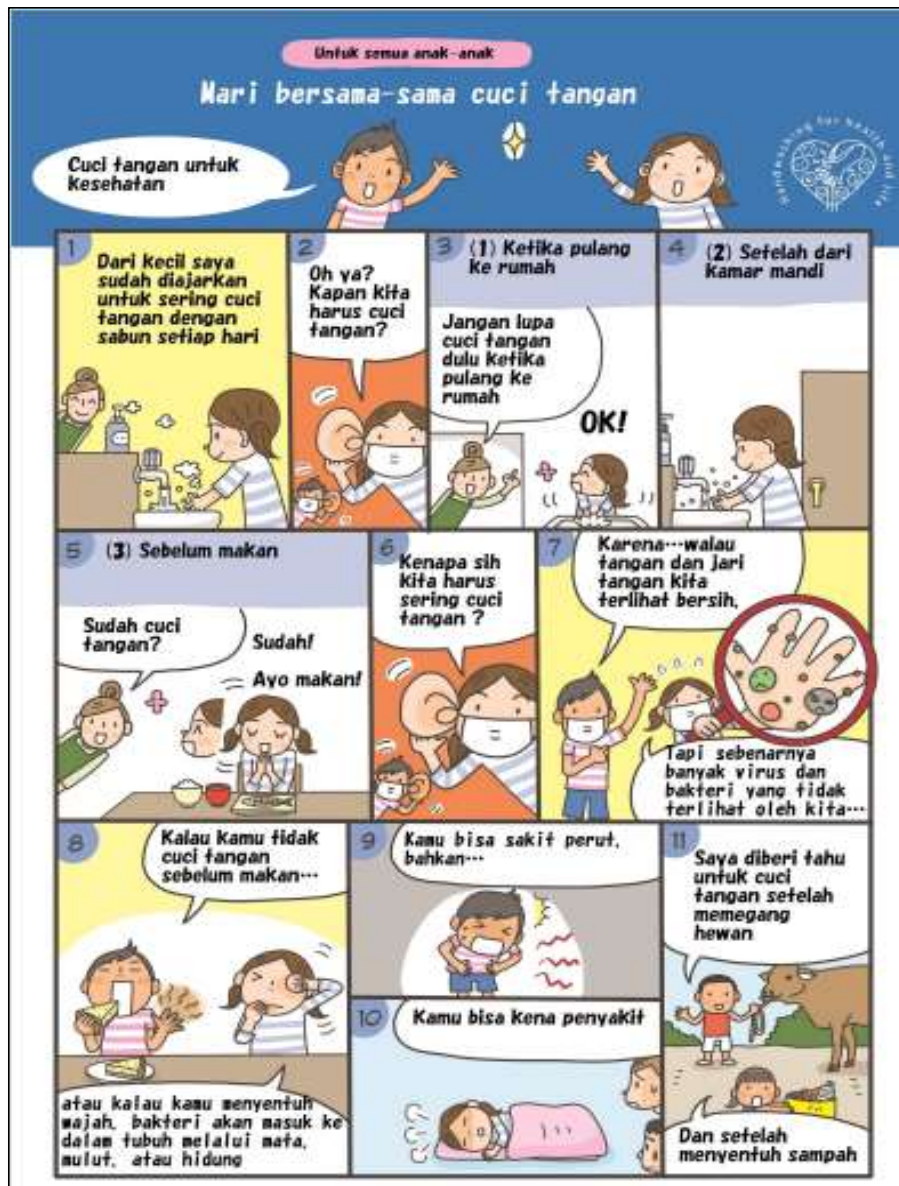
・コロナ禍において行事やプレスツアー等の広報活動が難しい中、JICA青年研修帰国同窓会ネットワークと連携し、医療現場等で求められている衛生用品の配布、予防に関する啓発活動を行ったことで、JICAからインドネシア政府への連帯感を示す広報活動となった。

・事務所として初の試みであり、試行錯誤をしながら企画（20年6月）から実施完了（同11月）まで6ヵ月を要した。衛生用品の選定と調達に3ヵ月、配布先の確定と配布に1ヵ月を要した。同様の活動を行う場合、選定及び調達手続きの迅速化によって数ヵ月程度は短縮可能と考えられる。

関連情報／サイトなど

- ・ 動画 Facebook : <https://www.facebook.com/367224674079/videos/900614020473256/>
 YouTube : <https://www.youtube.com/watch?v=Vy2rFfgk4vY>
- ・ ニュースレター (No. 6) https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pg00002mzkx4-att/handwashing_news_06.pdf

「正しい手洗い漫画」（井上きみどりさん）インドネシア語ver.





作成日 2021年10月4日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No. 2

活動名	水道事業運営管理能力向上プロジェクト(MaWaSU 2) での水道教室	
活動の種類	■広報・啓発 □資機材供与 ■その他(水道教室)	
キーワード	水道教室、手洗い方法	
プロジェクト名	水道事業運営管理能力向上プロジェクト(MaWaSU 2)	
スキーム	■技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 □その他() ※課題別研修、国別研修、フォローアップ協力等	
地域	■東南アジア・大洋州 □東・中央アジア □南アジア □中南米 □アフリカ □中東・欧州 □日本国内	
国	ラオス	
都市	カムアン県	
部署/事務所/センター	地球環境部水資源グループ	
手洗い活動実施期間	2020年10月15日	
活動概要		
<p>・カムアン県の中学校で「世界手洗いの日(10月15日)」に合わせて「水道教室」を行い、約120名の学生が参加し、手洗いの重要性及び正しい手洗い方法を伝えた。</p> <p>・活動の様子は現地の新聞2紙に掲載された。</p> <p>・MaWaSU2の前身のMaWaSU1の活動で2014年から住民の水と水道への啓発に取り組んでおり、手洗い運動と水道教室がスムーズに連携することができた。</p>		
啓発人数	120人	
配布物 / 供与資機材 数	手洗いの啓発ポスターや現地で作成された啓発用のうちわ(人数分)	
写真		
		
恒例の浄水過程の実践説明は毎回子どもたちの興味を引き付けます	手洗い後のハイタッチ	大勢の子どもたちが水道教室を楽しみました
教訓・課題		
<p>・MaWaSU1の時代から水道教室を実施しており、長い時間をかけてカウンターパートの人材を育成し、ラオス国内で水道教室を実施できる講師と体制を構築したことは、今後のラオス国内での手洗い運動の継続的な実施に貢献する良い教訓であった。</p> <p>・プロジェクト終了後も、新型コロナウイルスやその他の感染症などの猛威はいつ発生するか分からず、衛生で安全な水の正しい利用の啓発活動はいつでも高い水準で求められるが、その啓発手段としての水道教室をラオス国内で自立的・持続的に実施可能な体制が構築できたことは大変有意義と考えられる。</p>		

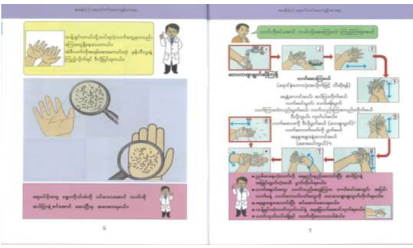


関連情報／サイトなど

- ・ ニュースレター (No. 2) https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzkx4-att/handwashing_news_02.pdf
- ・ プロジェクトサイト <https://www.jica.go.jp/project/laos/023/index.html>
- ・ Facebook投稿 <https://www.facebook.com/1543550082576549/posts/2686486484949564/>
- ・ 2020年10月20日付Vientiane Times紙（当地英字新聞）に掲載
- ・ 2020年10月19日付VTE Mai（ラオス語現地新聞） <https://v2.vientianemai.net/archives/10654>
https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=651779252179053&id=100020409512504



作成日 2021年9月1日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No. 3

活動名	初等教育カリキュラム改訂プロジェクトにおける手洗いの教科書への掲載	
活動の種類	■広報・啓発 □資機材供与 ■その他（教育・教材	
キーワード	初等教育、教科書、動画	
プロジェクト名	初等教育カリキュラム改訂プロジェクト	
スキーム	■技術協カプロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 □その他（ ）※課題別研修、国別研修、フォローアップ協力等	
地域	■東南アジア・大洋州 □東・中央アジア □南アジア □中南米 □アフリカ □中東・欧州 □日本国内	
国	ミャンマー	
都市	全土	
部署/事務所/センター	人間開発部 基礎教育グループ	
手洗い活動実施期間	2017年から	
活動概要		
<p>・「初等教育カリキュラム改訂プロジェクト」で小学校全5学年、全10科目のカリキュラムの改訂と教科書・教師用指導書の開発を支援した。</p> <p>・コロナ禍以前より小学1年生の単元に「せいけつ」があり、全国130万人の小学1年生が手洗いについて学んでいる。</p> <p>・教師や保護者向けの手洗い啓発活動動画を作成し、コロナ禍で登校できない生徒へも手洗いの重要性や正しい手洗い方法を伝えた。</p>		
啓発人数	130万人	
配布物 / 供与資機材 数	教科書（履修内容に手洗いを含む）	
写真		
		
小学1年生「ライフスキル」の教科書で手洗いを学ぶ	<教師向け啓発メッセージ> 「子どもたちが教室に入る度に、必ず手洗いさせましょう。」	<保護者向け啓発メッセージ> 「子どもが元気なら、学校に送り出しましょう。学校では、手洗いなど、感染症予防についても学ぶことができます。」
教訓・課題		
-		

関連情報／サイトなど

- ・ 動画 YouTube : <https://www.youtube.com/watch?v=-X0fISdoTLo&feature=youtu.be>
- ・ プロジェクトサイト <https://www.jica.go.jp/project/myanmar/014/index.html>
- ・ ニュースレター (No. 8) https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzqx4-att/handwashing_news_08.pdf

「正しい手洗い漫画」 (井上きみどりさん) ビルマ語ver.





作成日 2021年10月4日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No. 4	
活動名	アッチー・アーダト（良い習慣）キャンペーン（民間企業や自治体との連携による活動）
活動の種類	■広報・啓発 □資機材供与 □その他（ ）
キーワード	コロナ対策、「正しい手洗い漫画」、SATO Tap、爪切り、マスク、動画、民間企業連携、自治体連携
プロジェクト名	アッチー・アーダトキャンペーン
スキーム	□技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 ■その他（外部連携事業）※課題別研修、国別研修、フォローアップ協力等
地域	□東南アジア・大洋州 □東・中央アジア ■南アジア □中南米 □アフリカ □中東・欧州 □日本国内
国	インド
都市	全土
部署/事務所/センター	インド事務所
手洗い活動実施期間	2021年1月～2022年3月
活動概要	
<p>・2021年1月から「アッチー・アーダトキャンペーン（ヒンディ語で良い習慣という意味）」を実施しており、インド国内において1億人に対して啓発することを目標とする。</p> <p>・活動は現地コンサルタントへ委託し、インド国内のさまざまな州で実施されている。</p> <p>・初回イベントの概要は下記のとおり 日程：2021年1月28日 場所：ウッタル・プラデシュ州 対象：子ども20名（7歳～15歳） 「正しい手洗い漫画」のヒンディー語吹き替え動画を上映した。 貝印社及びLIXIL社による正しい手洗い方法及び爪切り方法のデモンストレーション イベントの様子はNHKの番組や新聞等各種メディアで取り上げられ、大きな反響があった。</p> <p>・本活動は、日本企業11社及び日本の地方自治体に賛同を得て、各団体と連携・協力して実施されている。連携先は下記のとおり。（2021年10月時点）</p> <ul style="list-style-type: none">・株式会社LIXIL 手洗いステーション「SATO Tap」の提供・貝印株式会社 爪切りの提供・ユニ・チャーム株式会社・株式会社良品計画 マスクの提供・ヤクルト・株式会社アメグミ・株式会社日水コン・関西化工株式会社・朝日インテック株式会社・講談社 「はたらく細胞」を使用した、新型コロナウイルス及び感染症予防に関する動画制作（インド事務所は動画の翻訳を支援）・サンリオ ハローキティを使用した手洗い啓発動画制作・熊本県 くまモンを使用した、新型コロナウイルス及び手洗いに関する動画制作	
啓発人数	啓発セッション等を通じた直接裨益者数 約3万人(2021年8月末時点)
配布物 / 供与資機材 数	-

写真



「アッチー・アーダト キャンペーン 初めて爪切りを使う少年」ポスター



「正しい手洗い漫画」のヒンディー語吹き替え動画の上映

教訓・課題

- ・本キャンペーンでは、多くの企業と連携してきているが、ほとんどが日本企業との連携のため、「日本」から「インド」に対する一方的な発信、とインド人から捉えられてしまう点が課題である。
- ・本キャンペーンにどのようにインド人を巻き込み、当事者意識を持ってもらえるかが、全国へ活動を拡大し、持続的に習慣化させるための重要な鍵である。インド人スタッフのいる本キャンペーンのコンサルタントであるIJKakehashiと協力しながら、よりインドのニーズに合った取り組みを推進していく。

関連情報／サイトなど

- ・アッチー・アーダトキャンペーン（JICAインド事務所）
<https://www.jica.go.jp/india/english/office/others/campaign.html>
- ・JICAインド事務所FaceBook
<https://www.jica.go.jp/india/english/index.html>
- ・手洗い啓発動画（JICAインド事務所YouTube）
https://youtu.be/A_Fj0q7jDwo
- ・正しい手洗い漫画（ヒンディー語）
https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002n8u42-att/Hindi_01.pdf
- ・ハローキティ手洗い啓発動画（JICAインド事務所YouTube）
<https://youtu.be/YikiZ2G0zWg>
- ・はたらく細胞「新型コロナ編」英語版（YouTube）
<https://youtu.be/zUEHfQuEorU>
- ・はたらく細胞コロナ感染予防（YouTube）
<https://youtu.be/kNdBJwncc4U>
- ・講談社特設サイト
<https://shonen-sirius.com/saibou-movingcomic.html>
- ・ニュースレター（No. 9）
https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzqx4-att/handwashing_news_09.pdf
- ・ニュースレター（No. 17）
https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzqx4-att/handwashing_news_17.pdf



作成日 2021年10月4日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No.5		
活動名	ユースセンターにおけるValue in Life Activitiesを通じた新型コロナウイルス予防啓発活動と青年リーダーの育成	
活動の種類	■広報・啓発 □資機材供与 □その他（ ）	
キーワード	手洗い方法、うがい、特活、幼児	
プロジェクト名	Value in Life Activitiesを通じた新型コロナウイルス予防啓発活動	
スキーム	□技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 ■その他（スタンドアロン型コミュニティ・エンパワメント・プログラム）	
地域	□東南アジア・大洋州 □東・中央アジア □南アジア □中南米 □アフリカ ■中東・欧州 □日本国内	
国	エジプト	
都市	カイロ、アレキサンドリア、ポートサイド、スエズ、カリユベイヤ、イスマイリア、ギザ、ファユーム、アシュート、カフル・エル・シェイク	
部署/事務所/センター	エジプト事務所	
手洗い活動実施期間	2020年11月～2021年8月	
活動内容		
<p>・エジプト国青年・スポーツ省と協働し、小学校児童及び就学前幼児を主な対象として手洗い・うがいを励行する啓発活動を実施した。 活動対象は以下のとおり。 ①対象小学校：100校（公立小学校）2,500名の児童 ②保育園：50園（就学前の教育と保育の質向上プロジェクトの活動サイト）</p> <p>・活動はJICAエジプト事務所が現地NGOへ委託し、実施されている。</p> <p>・全国に配置されたユースセンター（若者の文化的・身体的成長を目的としたプログラムを実施する多目的センター）にて青年リーダーを組織・育成し、啓発活動の担い手とし、啓発活動やSNS等を用いた広報を展開した。</p>		
啓発人数	3,750人（児童、幼児）、約2万人の地域住民（最終人数）	
配布物 / 供与資機材 数	ポスター14万枚、ちらしを10万枚を印刷・配布 その他、マスクや消毒液など2500セットを配布	
写真		
		
地方のユースセンターで指導にあたる青年リーダー。彼らが誇りを持ってプログラムを推進する姿が印象的。	「みんなで気を付けていこうね」、子ども達を取り巻くコミュニティにも青年リーダー達が注意を呼びかけた。	無料で利用できるウェブゲームでは、子ども達がコロナや子どもの責任について学べる。2021年5～8月の期間中12,000人がログインした。

教訓・課題

・2021年4月国内の感染拡大を受けエジプト政府が突如学校の閉鎖を発表し、当初計画していた学校での活動が停止となったが、エジプト国青年・スポーツ省の協力を得て全国に設置されたユースセンターに活動場所を変更し、対象となる小学生児童に対し啓発活動を継続した。このような不可抗力に対し、あらかじめ代替となる活動場所を想定しておくことが、活動の継続に有効であるという教訓を得た。

・メインの活動対象となる児童・幼児を取り巻くコミュニティ全体の意識変革を目的とし、多くの広報活動を実施した。大通り・地下鉄駅などの街頭広告、ウェブサイト制作（ゲーム含む）、TVコマercial制作、SNSでの発信により活動が周知され、マラソン大会などのイベントも青年リーダー達のアイデアによって実現に至り、新聞取材（30回）、TV出演（3回）、ラジオ出演（5回）につながり、より多くの市民にリーチできた。幼児から大人まで、それぞれの対象の関心や行動に適した多種多様な広報活動を実施したことが良い結果を生み出した。

関連情報／サイトなど

- ・ サイト <http://valuesinlife.net/>
- ・ Facebook <https://www.facebook.com/valuesinlife>
- ・ Instagram <https://www.instagram.com/valuesinlifeactivities>
- ・ twitter <https://twitter.com/ValuesInLife>
- ・ ニュースレター (No. 10) https://www.iica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzkx4-att/handwashing_news_10.pdf
- ・ ニュースレター (No. 14) https://www.iica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzkx4-att/handwashing_news_14.pdf

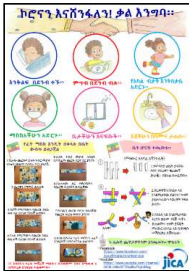


「正しい手洗い漫画」 (井上きみどりさん) アラビア語 (エジプト方言) ver.





作成日 2021年7月2日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No. 6

活動名	海外協力隊員（幼児教育）による幼稚園への啓発活動	
活動の種類	■広報・啓発 □資機材供与 □その他（ ）	
キーワード	幼児教育、協力隊、ポスター	
プロジェクト名	-	
スキーム	□技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 □その他（ ）※課題別研修、国別研修、フォローアップ協力等	
地域	□東南アジア・大洋州 □東・中央アジア □南アジア □中南米 ■アフリカ □中東・欧州 □日本国内	
国	エチオピア	
都市	アディスアベバ	
部署/事務所/センター	エチオピア事務所	
手洗い活動実施期間	-	
活動内容		
<p>・子どものCOVID-19感染防止の意識向上のためJICA海外協力隊が作成したポスター「コロナに負けるな！」を家庭に配布した。ポスターの内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、マスク着用、換気など6つの感染予防法を示したイラスト ・自宅にある布を使って簡単に出来るマスクの作り方の紹介 ・家で楽しめる紙遊びの紹介 <p>・エチオピアでは、コロナ発生以降子ども向けに予防対策などの情報が発信されていない状況であった。ポスターは親しみやすい内容で子どもたちの予防に対する意識を向上させる狙いがあり、これまでに首都アジスアベバ市内の幼稚園・小学校全51校に通う20,403人の子どもたちに配布された。</p>		
啓発人数	21,036人（ポスター配布部数）	
配布物 / 供与資機材 数	<p>ポスター</p> <p>第一回配付：隊員配属先の幼稚園向けに2,020枚</p> <p>第二回配付：隊員配属先の近隣小学校・幼稚園向けに4,303枚</p> <p>第三回配付：Kirkos Sub-city（事務所所在地）内の幼稚園・小学校向けに14,713枚</p> <p>合計：21,036枚</p>	
写真		
		
ポスター コロナに負けるな！	園長から園児へポスターを配布	コロナ感染拡大前の、JICA海外協力隊による難民キャンプでの手洗い指導

教訓・課題

- ・イラストを多く用いることで、幼稚園児をはじめ多くの人にとって理解しやすく、定着が図れる。
- ・他方、現地でポスター配布後のフォローアップが出来ない状況であるため、その後の生活習慣等の変化を把握できない。

関連情報／サイトなど

- ・ ニュースレター (No. 7) https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzkx4-att/handwashing_news_07.pdf

「正しい手洗い漫画」 (井上きみどりさん) アムハラ語ver.





作成日 2021年10月4日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No.7	
活動名	手洗いソングを通じたルサカ市内の脆弱地域の子どもたちへの感染拡大防止活動
活動の種類	■広報・啓発 ■資機材供与 □その他 ()
キーワード	手洗い方法、ダンス、子ども、脆弱地域
プロジェクト名	手洗いソングを通じたルサカ市内の脆弱地域の子どもたちへの感染拡大防止活動
スキーム	□技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 ■その他 (Community Empowerment Program) ※課題別研修、国別研修、フォーアアップ協力等
地域	□東南アジア・大洋州 □東・中央アジア □南アジア □中南米 ■アフリカ □中東・欧州 □日本国内
国	ザンビア
都市	ルサカ市内の未計画居住区 チャザンガ、チャワマ地区
部署/事務所/センター	ザンビア事務所
手洗い活動実施期間	2020年10月～2021年3月
活動内容	
<p>・ JICAザンビア事務所で以下の感染症関連対策資機材を調達し、ルサカ市の脆弱地域であるチャザンガ及びチャワマ地域に提供し、手洗いの啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・ マスク (7,357枚)・ 石けん (372ケース)・ 顆粒塩素 (25kgx40袋)・ 手洗いタンクキット (40基) <p>・ 子どもたちに「正しく、楽しく」手洗いを実践してもらうため、ピコ太郎氏の「PPAP2020」を活用し、現地コメディアンと契約して啓発活動を実施した。活動は、JICAザンビア事務所が現地NGO (BISO) へ委託し実施された。</p> <p>・ 手洗い啓発のワークショップを2020年10月15日から翌年1月中旬にかけて各地域120回、各回約50名の子どもを集めて実施。活動参加後には外出後帰宅した後に手を洗うことを心がける子どもの割合が2%から55% (27倍) にも増加した。</p> <p>・ 全国放送 (ZNBC) で本プロジェクトのドキュメンタリー番組を計6回、宣伝を15回放映した。地方のラジオ局では、7つの言語に翻訳したピコ太郎氏の「PPAP2020」を計456回放送した。</p> <p>・ ルサカ紙 (Daily Mail) の新聞織り込み広告として「正しい手洗い漫画」 (井上きみどりさん) 及びPPAP2020のポスターを4,000部配布した。</p>	
啓発人数	延べ子ども参加人数 : 6,000名
配布物 / 供与資機材 数	手洗いキット : 40基、マスク : 7,357枚、石けん : 372ケース、顆粒塩素 : 40袋、PPAP2020ポスター : 各回活動時、正しい手洗い漫画 : 各回活動時 + 折込広告 4,000部

写真



現地コメディアンがPPAP2020に合わせ、正しい手洗い方法を子どもたちへ教える



手洗いタンクの前に並び、現地NGOの指導を受けながら手洗いをする子どもたち



PPAPザンビアバージョン動画の冒頭画面

教訓・課題

・今回の協力機関であるBISOは過去にJICA海外協力隊を受け入れ、HIV対策のピアエデュケーターとして地域の青少年を2010年頃から2015年にかけて数十名育成した実績があった。BISOは地域に根差した活動を1996年の組織設立当初から行っており、本プロジェクトを実施した地域でも会場の確保や子どもたちの参加呼びかけを非常に円滑に行った。

・活動本番においても、子どもたちを入場時に一列に整列させソーシャルディスタンスを確保させたり、マスクやポスターの配布を一人一枚に管理したり、イベントの最中は子どもたちにPPAP2020に集中させることに努めたりと、工夫された運営が行われた。また2名のザンビア人コメディアンも、子どもたちを盛り上げることに大いに長けており終始プロジェクトに協力的だった。

・一方で、ワークショップの1回の参加人数が毎回想定以上の参加人数になってしまい、供与数に限りのあるマスクが不足したという課題があった。また、ルサカで新型コロナウイルス陽性者が急増した2021年1月中旬以降に活動を休止せざるを得ない状況になった。しかし、活動への参加も想定以上の人数であったことから、地域に根差したBISOと連携したことで、総じて本活動は地域住民に受け入れてもらったと言える。過去のJICA海外協力隊の受入を通じ、BISOがJICAや日本についての理解や認識を持っていたことも、コロナ禍で制限が多い中、短期間で成果をあげることに繋がったのではないかと考えられる。

関連情報／サイトなど

・ピコ太郎さん
PPAP2020

<https://youtu.be/WKfolJv6Kx8>

・PPAP2020 ザンビア
ver.

https://youtu.be/Af_pwwGiLw4

・ニュースレター
(No. 11)




https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzkx4-att/handwashing_news_11.pdf

・ニュースレター
(No. 17)

https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzkx4-att/handwashing_news_17.pdf



作成日 2021年10月4日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No. 8		
活動名	ナショナルスタッフ主動による手洗い啓発活動	
活動の種類	■広報・啓発 □資機材供与 □その他 ()	
キーワード	正しい手洗い漫画、新聞、スローガン、ナショナルスタッフ	
プロジェクト名	-	
スキーム	□技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 ■その他(事務所) ※課題別研修、国別研修、フォローアップ協力等	
地域	□東南アジア・大洋州 □東・中央アジア □南アジア □中南米 ■アフリカ □中東・欧州 □日本国内	
国	タンザニア	
都市	全土(主にダルエスサラーム)	
部署/事務所/センター	タンザニア事務所	
手洗い活動実施期間	2021年1月～	
活動内容		
<p>・ JICAタンザニア事務所内に手洗いタスクチームを結成し、各事業への手洗い啓発素材の普及、広報活動、所内のCOVID-19感染防止対策の活動を実施した。</p> <p>・ 事務所内向けのセミナーでは、COVID-19対策の概略、ドライバー向けの車内消毒の実習と併せ、医療施設における手洗いのグッドプラクティス、正しい手洗いの方法やタイミングを紹介した。</p> <p>・ スワヒリ語に翻訳した「正しい手洗い漫画」(井上きみどりさん)(以下、「手洗い漫画」という)を現地新聞4紙に掲載し、内1社のみで当日中に600件以上の問い合わせがあった。合計発行部数は約15万部で、150万人以上の読者にリーチした可能性がある。</p> <p>・ 現地カウンターパートや小学校に対しても手洗い啓発を行い、活動開始以降約9,000部の手洗い漫画を配布。</p>		
啓発人数	【新聞経由】約150万人(新聞4紙計15万部、一部当たり10人読むと想定) 【直接配布】約9,000人	
配布物/供与資機材数	「正しい手洗い漫画」を現地新聞4紙に掲載。 また、約9,000部をカウンターパートや小学校児童等に配布。	
写真		
		
事務所の手洗い運動タスクチーム	現地新聞に掲載した手洗い漫画	無償資金協力事業の現場での手洗い啓発 (©三井住友建設株式会社)

教訓・課題

・手洗い漫画のスワヒリ語版等の現地語の啓発素材を用いて現地向け媒体にて発信し、より多くの現地住民に情報が届いたことで、反響を呼ぶ結果となった。

・小学校等で啓発活動を実施すると、手洗い施設整備の陳情を受けることが少なくない。適切な手洗いには必ずしも立派な施設が必要というわけではない点への理解向上や、過剰な期待をされないような配慮が課題として挙げられる。

関連情報／サイトなど

- ・正しい手洗い漫画 (スワヒリ語) <https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002n8u42-att/Swahili.pdf>
- ・ニュースレター (No. 14) https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzkx4-att/handwashing_news_14.pdf

「正しい手洗い漫画」 (井上きみどりさん) スワヒリ語ver.





作成日 2021年10月4日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No. 9		
活動名	みんなの学校：住民参加による教育開発プロジェクトにおける手洗い啓発活動	
活動の種類	■広報・啓発 □資機材供与 □その他（ ）	
キーワード	手洗い方法、給食	
プロジェクト名	みんなの学校：住民参加による教育開発プロジェクト	
スキーム	■技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 □その他（ ）※課題別研修、国別研修、フォローアップ協力等	
地域	□東南アジア・大洋州 □東・中央アジア □南アジア □中南米 ■アフリカ □中東・欧州 □日本国内	
国	マダガスカル	
都市	アナラマンガ県（第一対象県）、アムルニマニア県（第二対象県）	
部署/事務所/センター	人間開発部基礎教育グループ	
手洗い活動実施期間	2019年～	
活動内容		
<p>・「みんなの学校プロジェクト」では保護者・教員・地域住民から構成される学校運営委員会の活性化支援している。その結果、同委員会は、地域のリソースを動員し、教材等の購入や補習授業など、教育改善の取り組みを活発に実施している。</p> <p>・取り組みにおいては、学校給食の安定的な提供にも努めており、給食前の手洗い活動も積極的に行われた。手洗い活動に参加した子どもの数は146校で約21,900人にのぼる。</p>		
啓発人数	146校の21,900人	
配布物 / 供与資機材 数	-	
写真		
		
子どもたちを取り巻く課題とその解決策について考え、話し合う「みんな」	給食前に手を洗う子どもたち	給食を前に笑顔の子どもたち
教訓・課題		
<p>・水道も井戸もない学校が多く、手洗い用の水の確保は容易でない状況となっている。毎朝子どもが自宅から水を持参し、教室毎の容器に集めて使用するなど、各校で努力している。</p> <p>・せっけんなどの消耗品の確保は、学校運営委員会の活動計画に盛り込まれている。</p>		

関連情報／サイトなど


- ・プロジェクトサイト <https://www.jica.go.jp/project/madagascar/003/index.html>
(フェーズ1のサイト)
- ・ニュースレター (No. 12) https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzkx4-att/handwashing_news_12.pdf

「正しい手洗い漫画」 (井上きみどりさん) マダガスカル語ver.





作成日 2021年7月1日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No. 10	
活動名	「正しい手洗い漫画」の全国紙への掲載
活動の種類	■広報・啓発 □資機材供与 □その他（ ）
キーワード	正しい手洗い漫画、新聞
プロジェクト名	-
スキーム	□技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 ■その他（事務所）※課題別研修、国別研修、フォローアップ協力等
地域	□東南アジア・大洋州 □東・中央アジア □南アジア □中南米 ■アフリカ □中東・欧州 □日本国内
国	南スーダン
都市	ジュバ、全土
部署/事務所/センター	南スーダン事務所
手洗い活動実施期間	2020年11月5日
活動内容	
<p>・世界手洗いの日（10月15日）に「正しい手洗い漫画」（井上きみどりさん）を国内発行部数1・2位の英字新聞に投稿した。</p> <p>・南スーダンの識字率は男性40%、女性16%（2010年）と言われており、漫画を利用することで、手洗いの必要性を読者へ共有することに努めた。</p> <p>・掲載紙について Juba Monitor 発行部数：14,000部 Dawn 発行部数：5,000部</p>	
啓発人数	10万人以上（リーチ数（想定））
配布物 / 供与資機材 数	現地新聞2紙に掲載（Juba Monitor, Dawn） Juba Monitor：14,000部（月～金曜 2,500×5=12,500部、土曜1,500部） Dawn：5,000部（月～金曜 1,000×5=5,000部）
写真	
 <p>現地英字新聞に掲載された「正しい手洗い漫画」（井上きみどりさん）（Juba Monitor 2020年11月5日）</p>	
教訓・課題	
-	

関連情報／サイトなど

・正しい手洗い漫画
(英語) (1枚目、2枚目)

https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mqn6u-att/handwashing_manga_e_p1.pdf

https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mqn6u-att/handwashing_manga_e_p2.pdf

・ニュースレター
(No. 9)

https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzkx4-att/handwashing_news_09.pdf

「正しい手洗い漫画」 (井上きみどりさん) 英語ver.





作成日 2021年10月4日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No. 11		
活動名	ピアンジ県・ハマドニ県上下水道公社給水事業運営能力強化プロジェクトにおける現地自治体及び教育組織と連携した手洗い啓発活動	
活動の種類	■広報・啓発 ■資機材供与 □その他（ ）	
キーワード	小学校、水道、手の洗い方、コロナ対策	
関連プロジェクト	ピアンジ県・ハマドニ県上下水道公社給水事業運営能力強化プロジェクト	
スキーム	■技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 □その他（ ）※課題別研修、国別研修、フォローアップ協力等	
地域	□東南アジア・大洋州 ■東・中央アジア □南アジア □中南米 □アフリカ □中東・欧州 □日本国内	
国	タジキスタン	
都市	ピアンジ県、ハマドニ県	
部署/事務所/センター	地球環境部水資源グループ第1チーム	
手洗い活動実施期間	2021年3月16日～19日（4日間）	
活動内容		
<p>・手洗い運動は、2021年3月16日～19日で実施され、延べ1,700人の児童と先生及び関係者を含めて約2,000人が参加した。子どもたちにはタジク語に翻訳した「正しい手洗い漫画」（井上きみどりさん）のパンフレットと石鹸を配布した。</p> <p>・手洗い運動の様子は、国営TV局の全国ニュース番組の中で数日に亘って放映された。</p> <p>・本プロジェクトでは本邦研修で学んだ「巡回教室」を通じて既に県下の小学校と関係を構築していたが、手洗い活動の実施に当たっては、県庁、町村議会、教育委員会等の行政機関や県病院・看護学校等の医療機関などを幅広く巻き込み、各組織の協力により実施された。</p>		
啓発人数	2,000人	
配布物 / 供与資機材 数	石鹸1,700個、パンフレット1,700枚	
写真		
		
タジク語に翻訳したパンフレットは分かりやすく子どもたちに好評だった。	看護学校の学生が手洗いの指導を実施。石鹸・タジク語に翻訳した「正しい手洗い漫画」を子どもたちへ配布。	手洗い運動に参加した子どもたち。4つの小学校で延べ1,700人の児童が参加。
教訓／課題		
-		

関連情報／サイトなど

- YouTube プロジェクト紹介 : <https://youtu.be/G0y7yK4jLAU>
 手洗い運動の様子 : <https://youtu.be/edGeXrECZ7Q>
 正しい手洗い漫画 (タジク語) : <https://www.iica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002n8u42-att/Tajikistan.pdf>
 ニュースレター (No. 12) : https://www.iica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzkx4-att/handwashing_news_12.pdf

「正しい手洗い漫画」 (井上きみどりさん) タジキスタン語ver.





作成日 2021年10月4日

健康と命のための手洗い運動 活動事例 No. 12		
活動名	コチャバンバ県統合水資源管理能力強化プロジェクトにおける「正しい手洗い漫画」を活用した手洗い啓発活動	
活動の種類	■広報・啓発 ■資機材供与 □その他（ ）	
キーワード	正しい手洗い漫画、動画、テレビ、ラジオ	
プロジェクト名	コチャバンバ県統合水資源管理能力強化プロジェクト	
スキーム	■技術協力プロジェクト □有償 □無償 □草の根技協 □協力隊事業 □その他（ ）※課題別研修、国別研修、フォローアップ協力等	
地域	□東南アジア・大洋州 □東・中央アジア □南アジア ■中南米 □アフリカ □中東・欧州 □日本国内	
国	ボリビア	
都市	コチャバンバ、全土	
部署/事務所/センター	地球環境部水資源グループ	
手洗い活動実施期間	2020年10月～2020年12月	
活動内容		
<ul style="list-style-type: none">・「正しい手洗い漫画（井上きみどりさん）のスペイン語版（以下、「手洗い漫画」という）を作成し、同漫画を基に制作した動画をYouTubeで公開。・手洗い漫画の動画は現地テレビの昼と夜のニュースで毎日紹介。ボリビア環境水省が動画をfacebookで紹介。・2020年10月4週目よりラジオ放送主要3局での手洗い啓発CMの配信を開始。・スーパー、薬局を通じて2,000部のポスターを配布。保健サービス局の職員が、公衆便所、マーケット等の衛生検査実施時に手洗い漫画ポスターを掲示。さらに、コチャバンバ市の陸軍駐屯地及びSan Sebastián刑務所にもポスターを掲示。その他、県庁が実施するセミナーなどでもポスターを配布。・2020年11月23日に移動式簡易手洗い設備の引き渡し式が行われ、現地で報道された。移動式簡易手洗い設備はコチャバンバの都市部の人が集まる多くの場所に設置された。		
啓発人数	コチャバンバ県人口約200万人（2021年推定）	
配布物 / 供与資機材 数	ポスター4,000枚以上、移動式簡易手洗い設備 200台、簡易給水施設建設用資材(10m3貯水タンク80台)の調達	
写真		
		
スペイン語版の手洗い啓発ポスター	薬局のカウンターに掲示した手洗い啓発ポスター	市役所の入り口に設置されている移動式手洗い設備

教訓・課題

・日本とは異なる文化でどのように受け止められるかを踏まえ必要に応じてローカライズを事前検討するとよい。本取り組みでは、次のような現地からの感想が得られたため、特段の対応は不要であった。

・「日本人とボリビア人は比較的容姿が似ているので、子どもの描写にそれほど違和感はなく、漫画の画がかわいらしい」と評判だった。また、お椀に盛られたご飯や布団を敷いて寝ている画はいかにも日本的で、とても新鮮に映るようだった。

関連情報／サイトなど

- ・ 動画 https://youtu.be/3E4-W9m_kxY
- ・ ニュースレター (No. 2) https://www.iica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mzx4-att/handwashing_news_02.pdf
- ・ Facebook https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=145284833978907&id=105785461262178
- ・ 正しい手洗い漫画 (スペイン語) <https://www.iica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002n8u42-att/Spanish.pdf>

「正しい手洗い漫画」 (井上きみどりさん) スペイン語ver.



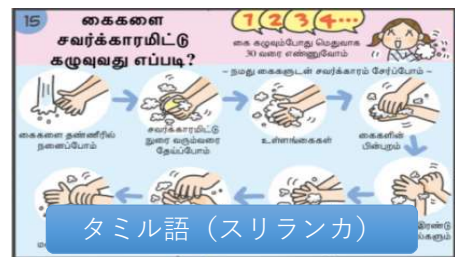


「正しい手洗い漫画」の広がり



健康と命のための手洗い運動事務局では、取材マンガ家井上きみどりさんによるJICAオリジナル手洗いポスターを作成しました。現在、34言語に翻訳されています(2022年4月現在)。英語、日本語、ブランク版の3点が掲載されていますので、ご自由にダウンロードいただき、皆さまの現場での活動に役立ててください。

https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/handwashing_manga.html



翻訳状況は以下サイトにてご確認いただけます。

https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002mqn6u-att/handwashing_manga_translation_status.pdf

問合せ先
地球環境部水資源グループ <gegwt@jica.go.jp>